

## 1 地域ケア会議全体像

会議	地域ケア個別会議	地域ケア課題整理会議	地域ケア推進会議
機能	高齢者の自立支援や重度化防止について様々な専門職と一緒に検討します。個別のケース検討を通じ、地域の課題を把握することも期待されます。	地域ケア個別会議で把握された地域の課題について整理します。課題を解決するために既存のサービスや資源の有効活用や、新たな資源の開発等について検討します。	地域ケア課題整理会議で検討した結果、新たな事業化や施策化を行う必要がある場合に検討を進め、介護保険事業計画等に位置づけるなど政策へ結び付けます。
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター職員</li> <li>・アドバイザー(医師・歯科医師・薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士)</li> <li>・民生委員</li> <li>・生活支援コーディネーター(第1層)</li> <li>・本庄市担当課職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター職員</li> <li>・生活支援コーディネーター(第1層・第2層)</li> <li>・第2層協議体</li> <li>・課題整理会議の検討に必要な専門職</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター運営協議会委員</li> </ul>
開催頻度	各圏域ごとに4月～12月まで毎月1回	各圏域ごとに年1回	市全体で年1回
主催	地域包括支援センター	地域包括支援センター	市

## 2 令和元年度地域ケア個別会議の実施報告

	回数	事例数
西	10	19
東	9	18
南	9	18
児玉	9	14
合計	37	69

## 3 令和元年度地域ケア課題整理会議の実施報告

地域ケア個別会議の検討から地域の課題を把握しました。

	課題
西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【障害者に対する配慮】</li> <li>・【住環境】</li> <li>・【軽度者の方のリハビリの継続】</li> <li>・【就労の場】</li> <li>・【生活(移動)支援】</li> <li>・【見守り】</li> <li>・【集いの場】</li> <li>・【ボランティア】</li> </ul>
東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【集いの場】</li> <li>・【外出支援について】</li> <li>・【ボランティアについて】</li> </ul>
南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【支え合いの支援】について</li> <li>・【移動支援】について</li> <li>・【生活の支援】について</li> </ul>
児玉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【移動】</li> <li>・【健康増進】</li> <li>・【多問題家族】</li> <li>・【集いの場】</li> </ul>

## 4 令和元年度地域ケア推進会議の実施報告

地域ケア課題整理会議で把握された11の課題について検討しました。

課題	主な対応・取組
障害者に対する配慮	①認知症に関する市の施策(オレンジカフェ、スクリーニングシステム、地域包括支援センターによる認知症個別相談会)等について更に周知を進めます。 ②認知症サポーター養成講座を多世代に向け実施し、認知症の方の理解を広めます。
住環境	①介護保険の住宅改修や福祉用具を適切に利用できるようにします。 ②短期集中サポートサービス(理学療法士等が自宅を訪問し安全に生活できるように支援する)を更に周知します。
就労の場	①短期集中サポートサービス(理学療法士等が自宅を訪問し安全に生活できるように支援する)を更に周知します。 ②リハビリを一緒に行うボランティアの活用を検討します。
移動支援	①はにぼん号・もといずみ号の利用の周知 ②移動の付き添い支援をするボランティアの活用を検討します。
見守り	①見守りをしている民生委員や自治会について周知します。 ②集いの場を活用した見守りを検討します。
集いの場	①集いの場の活用や周知をします。
ボランティア	①地域包括支援センターや社会福祉協議会の困りごと相談や民生委員・児童委員の役割の周知をすすめます。
支え合い支援	①自治会と民生委員・児童委員との連携・情報共有や、民生委員・児童委員と地域の介護支援専門員との連携・情報共有といったことに取り組んでいきます。
生活支援	①身体介護が必要な場合は、ヘルパーの介入、軽度な家事支援や買い物は民間やボランティアの活用等の仕組みづくりといったことに取り組みます。
健康増進	①訪問リハ事業所の開設について検討していきます。
多問題家族	①地域で把握している個人情報に関係機関へつなげるための仕組みづくりについて検討していきます。

◎下記の内容については、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(以下「計画」という。)へ提言します。

課題	内容
見守り	①助け合える環境づくりを目指すため、多世代が集まるイベントを開催してください。
集いの場	②集いの場の情報(地域の情報)収集のため、情報を提供しやすい環境づくりを目指してください。
ボランティア	③認知症の人に優しい地域づくりに向けた認知症サポーターの幅広い世代に向けた育成とサポーターの活用に向けた仕組みづくりを検討してください。

※計画上にない他分野の内容については担当課に情報提供させていただきました。